

2020年8月19日

報道関係各位

公共交通オープンデータ協議会

都営バスのバスロケーションデータの Google マップへの提供開始について

公共交通オープンデータ協議会（会長：坂村 健 INIAD 東洋大学情報連携学部 学部長）は、公共交通オープンデータセンターより、東京都交通局の運行する都営バスのデータを Google Asia Pacific Pte. Ltd. に提供開始しました。提供されたデータは 2020 年 8 月 18 日より Google マップ上に掲載され、経路探索に際して案内されるバスのリアルタイムな位置情報が表示されるようになります（図 1 参照）。

多数の民間事業者によって公共交通機関が運行される日本では、公共交通データの流通には事業者間の連携が不可欠です。首都圏の多数の公共交通事業者や ICT 事業者が参画する本協議会は、未来の東京における円滑な公共交通提供に資することを目的とし、公共交通データのオープンな流通のためのエコシステム創生に向けた活動を行ってきました。

2019 年 5 月 31 日より公共交通オープンデータセンターの運用を開始し、東京都交通局を含む複数の交通事業者のデータを、ICT 事業者や一般の開発者の活用を可能にしています。この度の、経路検索などを可能とする Google マップへの提供開始は、本センターの活動の重要な成果の一つと位置付けています。

本協議会は、公共交通オープンデータセンターが、ボランティアの個人プログラマから大手 ICT 事業者に至るまで、多様なデータ利用者と多数の公共交通事業者を結ぶデータ連携プラットフォームとなることを目指しています。今後とも、参画する事業者の協力を得ながら、提供する公共交通データの拡充と、その利活用の活性化に向けて継続的に取り組んで参ります。

以上

[問い合わせ先]

公共交通オープンデータ協議会事務局（YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内）

担当：柏、山田 電話：03-5437-2270、E-mail：odpt-office@ubin.jp

<補足資料>



図 1

[公共交通オープンデータ協議会]

公共交通オープンデータ協議会は、公共交通事業者およびICT事業者等79団体(2020年8月1日現在)で構成される、産官学連携の協議会です。鉄道、バス、航空、フェリーの分野において、公共交通関連データのオープン化に向けた活動を行っています。2019年5月より、鉄道、バス、航空などさまざまな交通機関のデータをワンストップで提供する「公共交通オープンデータセンター」の運用を開始しています。

<https://www.odpt.org/>

